

令和3年度 社会福祉法人仁多福社会 事業報告

1. 経営理念

「献身・貢献」 「規律・秩序」 「努力・向上」 「縁・感謝」

2. 基本方針

○多様なニーズ、多様化する未来に対応できる人材の育成

- ・課題に築き、解決に向けて自ら行動を起こす人
- ・課題解決能力の向上に努力する人
- ・想定外の事象に柔軟に対処できる人
- ・多様な価値観と共存できる人

○「働きたい」と思われる職場作り

○感染症対策を行いながらの事業の実施

○地域貢献

- ・日常的な相談への対応
- ・非常事態下での地域への協力
- ・地域の伝統継承など地域活動への協力

3. 令和3年度重点課題

- ① 適正な時間外勤務（業務改善、生産性の向上）
- ② ハラスメントを防止し、良好な人間関係の形成
- ③ 非常事態下での施設開放など地域への協力（性別、障害等に配慮した受入）
- ④ 防災意識を高め、被災に備えた避難訓練などの実施
- ⑤ 老人保健施設の今後について検討
- ⑥ 保育所の今後について検討
- ⑦ 人材不足の解消
- ⑧ 感染症拡大防止策の徹底

【令和3年度事業の総括】

令和3年度の園児数、布勢保育所は定員40名のところ4月32名スタートで7月から0歳児の受け入れをし、3月には37名で終了。亀嵩分園は、35名定員のところ、4月31名のスタートで5月より0歳児の入園を行い3月は34名で終了。両園とも4月当初の新入児の受け入れはなく継続児のスタートで途中入所の園児も少人数となり園児の減少が著しい。この状況が運営状況にも大きく影響している。

事業内容について、県内のコロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて、中止にする行事もあったが、集会の参加対象を分けて行ったり、戸外で行ったりして参加人数や換気に注意して行っていった。クッキングの活動においても、羽釜でのご飯作り、焼き芋、みそ汁作り、調理の過程を見るなど調理と連携を取りコロナ禍でもできることをして、食への関心、楽しさを伝える努力を行った。

日常生活では、手洗いの徹底、食事の席の配置等、職員のマスク着用等感染予防に努めた。地域行事や地域の方との交流事業はやむを得ず中止とすることが多かったが、トロッコ列車の見送り活動は、公民館活動の方と一緒に定期的に行った。

今年になって園内の濃厚接触者の確認や学校関係の感染者が確認された事案があり、その都度に福祉会との相談や行政と協議をし、休園措置や登園自粛の依頼等を行った。その期間においては、保護者の理解、協力をいただいた。保護者へのコロナ関係の発信は一斉メール配信を活用した。

職員研修の、外部講師研修はオンライン研修が主で、できるだけ多くの参加ができるよう努めた。布勢保育所では、雲南保育協議会の公開保育と研究発表を10月に行い、それに向かう研修会を重ねた。「幼児期の暮らしを通じて“考える力”を育む」をテーマに日々の生活に焦点を置いて食事や着替え、片付け掃除などを見直して、子どもたちの中にどうおとしていくかその過程に丁寧に関わる取り組みをした。大人の存在意義も改めて考える機会となった。

亀嵩分園では、登降園時の子どもの安全確保について話し合い、交番の方を招いての交通安全教室や独自のポスターやちらしで危険防止の発信をした。仁多福祉会の職員研修(肥後功一氏)では、各園の歳児別保育公開をして「主体的に学びに向かう力」をテーマで研修し、日々の保育に生かすことができた。

児童クラブの活動においても、保育所同様コロナ感染予防対策に努めた。ふせにおいては比較的穏やかに、宿題の他製作や戸外でのあそびなど自由あそびをして過ごした。長期休暇には百人一首やALTさんとの交流あそびなどを取り入れるなど、活動が楽しめるようにした。

かめだけは、利用児童の学年幅が大きく日々の利用員数が10人を超えるため同施設での活動は難しく、近くの町自治会館を借用して活動した。個別支援が必要な児童の受け入れについては、小学校とこまめに連絡をとり、事故防止に努めた。個別支援についてクールダウンの場所の確保や個別対応ができる場所確保が難しく、当事者がストレスを抱える状況には、指導員も細やかに対応した。

両児童クラブともに、関係する学校のコロナ感染者の状況での休校等に関係して、利用自粛の依頼を行うなど感染拡大防止の対応措置をとり、その際には家庭での協力をいただき感染拡大防止に繋がった。学校関係と児童クラブとの情報共有が迅速になされることの必要性を感じるころであった。

布勢保育所本園

【経営の理念】

- ・社会福祉法人仁多福社会の保育所は、0歳から就学前の乳幼児の最善の利益を求め
るための保育（養護・教育）を行う。
- ・職員は保護者や地域社会と力を合わせ、一人一人の育ちを見つめ、支える人として豊
かな人間性と専門性の向上に努め、高い倫理観を持つ。

【保育の理念】

- ・布勢の豊かな自然と養護の行き届いた環境のもと、健康な心とからだを育む。
- ・保育所（幼稚園）、家庭、地域とのつながりを大切にし、子どもの健やかな成長を見
守り支える。

【保育目標】

「明るく たくましく 心豊かな子」

- ・からだをつかって思いっきりあそべる子ども
- ・元気で生き生きと生活する子ども
- ・素直でおもいやりのある子ども

【保育の方針】

- ・一人一人の良さを見出し、自己の能力が十分に発揮できるような機会を与え、よりい
っそう伸びていくように努める。
- ・地域、保育所、家庭が連携を取り、子どもの健やかな成長につなげる。
- ・様々な人とのふれあいを通して、人と関わる力を育てていく。
- ・自然の中で様々な体験活動を通して、豊かな感性を育てていく。
- ・積極的に小学校との連携をとり、安心して就学できるようにしていく。
- ・旬のものや地元野菜を取り入れ、安全で身体に優しい、心に残る食事作りに努める。

布勢保育所亀嵩分園

【経営の理念】

- ・社会福祉法人仁多福社会の保育所は、0歳から就学前の乳幼児の最善の利益を求めるための保育（養護・教育）を行う。
- ・職員は保護者や地域社会と力を合わせ、一人一人の育ちを見つめ、支える人として豊かな人間性と専門性の向上に努め、高い倫理観を持つ。

【保育の理念】

- ・亀嵩の豊かな自然と安心できる環境の中で心と体を育み、生活の基盤を作っていく。
- ・保育所、家庭、地域とのつながりを大切にし、子どもの健やかな成長を見守る。

【保育目標】

「明るく たくましく 心豊かな子」

か かがやく力が出せる子

め めいっぱい遊ぶ子

だ だれとでも仲良く遊ぶ子

け 健康で明るい子

【保育の方針】

○「生きる力」の基盤作り

- ・基本的な生活習慣を身につけ、心と身体の健康が保てるようにする。
- ・興味関心を引き出せる環境づくりや関わりを考えていく。

○子どもの意欲や主体性を大切にする

- ・一人ひとりの良さを見出し、自己の能力が十分に発揮できるような機会を与え、よりいっそう伸びていくように努める。
- また、やり遂げる喜びや自信を持つことができるようにする。

○小学校や地域との連携を図る

- ・運動会やマラソン大会などの小学校の行事に参加する。
- ・授業公開などを見に行き、教育の連携を図る。
- ・地域の方々との活動を通して、伝統文化や遊びを学ぶ機会を持つ。

○保護者支援

- ・保護者への丁寧な対応を心掛け、各々の子どもの育ちの支えを、家庭と共にすすめていけるようにする。

布勢保育所 入所児童数 及び 職員構成

【クラス構成】

ひよこ組	りす組	うさぎ組	ぱんだ組	きりん組	ぞう組	合計
0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	37名
5名	1名	8名	10名	5名	8名	

【職員構成】

職名	氏名	担当
所長	山田まゆ美	兼務
主任保育士	佐々木由紀	
副主任保育士	植田英子	ぞう組担任
保育士	川西千春	ひよこ・りす・うさぎ組担任
	坂井優太	ぱんだ・きりん組担任
	安部達矢	ぱんだ・きりん組担任
	三島萌香	りす・うさぎ組担任
	赤名浩子	ひよこ組担任
	嵐谷優佳	ひよこ組担任
調理師	内田美和子	調理
	濱田清美	
児童支援員	稲田美雪	ふせ児童クラブ
児童支援員補助	藤原ゆうこ	

【入所の状況】

月 歳児	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	0	0	0	2	3	3	3	4	4	5	5	5	34
1歳児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
2歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
3歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
4歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
5歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
合計	32	32	32	34	35	35	35	36	36	37	37	37	418
利用 総数	608	551	846	805	684	740	582	742	703	658	691	843	8,453

【3月末入所児数（過去5年間推移）】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
46人	42人	46人	39人	37人

【開放保育利用状況】

単位：組

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加 親子数	1	1	2	1	0	1	0	1	2	0	0	0	9

【クラス構成】

ひよこ組	りす組	うさぎ組	ぱんだ組	きりん組	ぞう組	合計
0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	34名
3名	4名	10名	7名	2名	8名	

【職員構成】

職名	氏名	担当
園長	山田まゆ美	兼務
主任保育士	部田 真知子	
保育士	藤原紀代美	ぞう組
	藤原美紀子	ぱんだ・きりん組
	佐伯莉帆	ぱんだ・きりん組
	土屋美枝	うさぎ組
	小池有実香	うさぎ組
	藤原友紀子	ひよこ・りす組
	板持恭子	ひよこ・りす組
	内田詩恵	育児休暇
石山 瞳	育児休暇	
調理員	中西奈津子	調理
調理助手	若槻三和子	調理
支援員	堀江美幸	かめだけ児童クラブ
支援員補助	加藤 歩	かめだけ児童クラブ

【入所状況】

月 歳児	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	0	1	1	1	1	2	3	3	3	3	3	3	24
1歳児	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
2歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
3歳児	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
4歳児	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
5歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
合計	31	32	32	32	32	33	34	34	34	34	34	34	396
利用 総数	519	551	606	692	596	641	718	652	635	675	677	713	7675

【3月末入所児童数】（過去5年間推移）

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
34人	37人	37人	40人	34人

令和3年度 布勢保育所 事業報告

＜保育・教育活動＞

月 日	活動名	対 象	内 容
4月 6日	進級おめでとう会	全園児	園内で進級・入園のお祝いをした。
5月 7日	*子どもの日お祝い会	亀嵩合同 以上児	亀嵩小学校サッカー場にて子どもの日の交流会を行った。運動あそびやゲームなど園児がそろって行事を楽しんだ。
19日	いっしょにあそぼ	未満児親子 9名	戸外遊びを楽しみながら、子どもの様子をみてもらい、一緒に活動を楽しんでもらった。 子育てや子どもの育ちを支えるための連携を図った。
26日	いっしょにあそぼ クラス懇談会	3・4歳児親子 15名	
6月 2日	いっしょにあそぼ クラス懇談会	5歳児親子 8名	親子で転がしドッチボール大会をするなど年長児の活動を一緒に楽しんだ。 就学前の子どもの育ちを支えるための連携を図った。
22日	トトロの楽校音楽会	仁多地域5歳児	奥出雲町体育館にて音楽療法トトロの楽校を行い、リズム体操やリトミック、楽器の演奏を楽しみ音楽に親しんだ。 プール、水遊びを楽しむため夏の遊びの始まりや決まりを伝えた。
29日	" プール開き	仁多地域4歳児 以上児 未満児	
7月			感染症予防のため、保護者参加活動を10月行事に併せた。
8月 4日	トロッコ列車遠足	4・5歳児	小原ダム管理事務所より笹竹をいただき笹飾りをつけ夏の伝統行事を体験した。
5日	七夕まつり 運動あそび交流	全園児 中止	
9月 1日	園まつり	全園児	年長児が主となり神輿作りやお店屋さんなどのおまつりの準備をし、公民館の方を招待し楽しいおまつりができた。
10月 2日	親子運動会	3・4・5歳児 父母参加 45名	園庭環境を活かした運動あそびや親子一緒に参加する種目等保護者も一緒に体を動かし楽しんだ。マラソン等日常の活動を取り入れることで体力・運動能力向上、頑張る力、協調性を育成する保育の取り組みを伝えた。
5日	ミニうどんかい	未満児	うどんかいごっこを楽しんだ。
6日	*交流うどんかい	亀嵩幼合同 3・4・5歳児	布勢・亀嵩混合チームで楽しみ他園児との関わりを深めた。 <u>園バス借用</u>
11月10日	いっしょにあそぼ (ふれあいあそび) (羽釜ごはん炊き)	3・4歳児 14名 5歳児 6名	活動を体験してもらい親子がふれあった。年長児は羽釜でごはんを炊き、おにぎり野菜たっぷり汁を味わった。

19日	いっしょにあそぼ (親子ふれあい活動・ 発表会・給食参観)	未満児親子 19名	保護者参加活動を11月に併せた。発表会 で季節の歌や好きな踊りを見てもら ったり、外でごっこ遊びを一緒に楽しん だ。給食の様子をみてもらった。
27日	生活発表会	3・4・5歳児 32名	物語や歌などに親しみ、友だちと一緒 に生活、遊びの体験をお話あそびで表現 することを楽しんだ。
11月29日 ～12月3日	個人面談(以上児)	保護者 15名	友だちとのかかわりや生活習慣の自立、 就学に向けての情報交換や子育てにつ いて保護者同士が話し合い園での様子 を伝え情報を共有した。 伝統や季節の移り変わりを伝える行事 を体験した。 八幡宮、公民館、近隣の商店で節分の豆 まきを一緒にした(豆不使用)。
12月1日	クラス懇談会(未満児)	保護者 6名	
10日	クリスマス会	全園児	
22日	もちつき	3・4・5歳児	
28日	年納会	全園児	
1月6日	新年おめでとう会	全園児	
2月3日	節分祭	全園児	
3月2日	ひなまつり会	全園児	分園合同で年齢に合わせた音楽リズム遊びを楽しんだ。 <u>園バス借用</u> 感染症予防に配慮しながら行った。
3月24日	卒園式	全園児	
毎月1回	*トトロの楽校 音楽療法士 武田千代美氏		

*印は布勢・亀嵩幼児園交流活動

【主な報告事項】

- 引き続き、仁多福祉社会保育所新型コロナウイルス拡大防止対策に関する方針を取りながら運営した。
- 本園関係者の新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者が確認されたため、1月14日から1月18日の期間を休園措置、登園自粛の要請をした。14日のみ3名の園児の保育利用があり、職員体制を少人数に限り、園児の保育、休園に伴う対応、園舎の消毒等を行った。
- 近隣小学校の関係者の新型コロナウイルス感染症の感染が確認されたため、3月4日から3月10日の期間、臨時休校となる。感染拡大防止の協力要請として、園児の登園自粛、家庭保育を依頼した。保育利用は、4日(4名)、7日(2名)、8日(2名)、9日(5名)、10日(5名)、保育室を分け、感染予防に留意しながら保育を行った。職員は平常通りの体制で対応し、保育再開の準備や保育室の環境整理、園舎内の消毒を行った。
- 家族の方が感染症の検査対象である場合も、家庭より登園自粛、経過観察等の連絡を受け、感染症拡大防止に協力していただき、平常の保育を行うことができた。
- 集会や食事等の場では、十分な室内換気や間隔を広げる、クラス単位での集合にする等、配慮し、衛生環境を整えながら行った。
- 子どもたちの多様なかかわりを目的とした本園、分園の交流活動は、衛生管理を十分にし、行うこととした。町内保育所の交流会についても、内容検討、参加人数等を配慮し、トトロの楽校音楽会など地区を分けて活動を行った。運動あそびについては、日程調整、感染症状況等により中止した。
- 地域の方との交流事業や小学校との交流事業については、関係者と相談の上、活動を再開することとしたが、感染症の状況により中止となる行事(読み聞かせ、小学校給食体験、交流会等)があった。
- トロッコ列車の運行開始から毎週金曜日に八代駅ホームや駅舎向こうの原っぱなどで見送り活動を行った。月1回、公民館活動参加の地域の方と一緒に見送り活動を行い、交流の機会をもった。

- 島根大学 肥後功一先生指導のもと、雲南保育協議会公開保育・研究会を行い、保育研究に取り組んだ。
- 県内の研修受講やオンライン研修受講に積極的に参加し、保育の質向上に努めた。
- 保護者の環境美化作業（森の整備）等、保育環境の整備を行った。窓ふき清掃をボランティア（町内郵便局員）でしていただいた。
- 園庭の玩具収納棚とままごとハウスを建て替え、安全な環境と創造性を培う遊び環境作りをした。

<食育>

布勢保育所

活動名	内容
野菜の栽培	地域の方、祖父母の方に教えてもらいながら栽培活動をした。
クッキング（羽釜ごはん炊き） 収穫祭（収穫野菜の汁）	感染症予防を行い、収穫した野菜でクッキング体験をした。 （羽釜炊きごはんのおにぎり、焼き芋、白菜と大根の汁）
給食当番	配膳、片付け、あいさつなど食事準備にかかわった。
食文化	和食、行事食（七夕そうめん、節分料理、ひなまつり料理など） 食文化にふれ、おいしくいただいた。
給食展示・食材展示・食育展示	食に関する情報を展示した。
食育だより作成	園の食育活動やレシピの紹介、家庭と共に食にかかわった。

- 畑で栽培活動を行い、旬の食材への興味を深めた。
- 年長児が羽釜でごはんを炊く体験をした。お米を量り、とぐ、水を入れる、森で木を集めて火をたく、自分たちでごはんを炊くなど、家庭では経験できない食体験を一緒にし、食への関心を広げた。
- 園の食事の様子や給食をみてもらい、各年齢の食を通して感じる喜びや関心を伝えた。

<保健・安全計画>

布勢保育所・亀嵩分園

活動名	対象	実施月日	内容
フッ化物洗口 身体測定	4歳以上 全園児	毎日昼食後 毎月下旬	歯みがき指導と共に行った。 身長・体重を測定し、発育状況を把握し家庭へ伝えた。
蟻虫検査・尿検査	全園児	5月14日 21日	健康状態、病気等を把握し健康管理を行った。
内科健診	全園児	7月6日 11月4日	布勢園医：奥出雲病院 前山昌隆医師（小児科） "
	"	6月2日 12月9日	亀嵩園医：千原医院 千原真人医師 "
歯科健診	全園児 全園児 "	3月22日 6月8日 6月1日	布勢新入児健康診断（新入児なし・内科健診） 布勢園医：奥出雲歯科 植田博義医師 亀嵩園医："
歯科指導	布勢5歳児	※中止	「健康な歯のはなし」「ブラッシング指導」 布勢小学校養護教諭
視力・聴力検査	布勢5歳児 亀嵩5歳児	9月16日 9月28日	布勢小学校にて検査 亀嵩小学校にて検査
避難訓練	全園児・職員	毎月1回	火災、地震、大水、弾道ミサイル、不審者対応の避難訓練を行った。災害時の対応を学んだ。

消防署立会避難訓練 交通安全教室	5歳児	3月14日	※3月予定 中止 園外保育時の安全管理、交通マナーを教わった。 小学校登下校時の交通安全を路上で学んだ。
施設・遊具安全点検 室内・玩具消毒 衛生管理	職員 職員	毎月10日 昼・降園後	チェック項目で点検し破損等は修繕等行った。 常時、室内を換気し、アルコールで消毒を行った。 玄関での手指消毒、マスク着用、来園者記名

○消防署立会避難訓練について感染症状況に伴い中止した。消火設備（消火器周辺、避難経路、避難具等）の確認を行い、安全意識を高め、避難訓練の必要性を共有した。

○設備の点検、保育内容の安全性をチェックシートや訓練で共有し、安全な生活に留意した。

○園舎内外を清掃、整理整頓し、衛生的に整え、子どもたちが安全で元気に遊べる環境作りに努めた。

○消毒液を用いて園内の消毒、遊具等の消毒をし、感染症の発生、蔓延を予防した。

○感染症に係る緊急時の対応として一斉連絡網メールを使用し、連絡事項等を発信した。

<小学校との連携>

布勢保育所

月 日	活 動 名	対 象	内 容
5月	野外を走ろう会 幼小中親子運動会	4・5歳児 ※不参加	小学校の活動に参加し、児童との交流や学校活動、生活を知る。
6月	幼小連絡会	※中止	授業公開を参観し、児童の様子や小学校の教育を知る機会をもった。
7月 8月	小学校教諭による 保育所見学	教員、職員	保育を公開し、幼児の生活、保育活動、療育支援等について保小の連携を図った。
10月	スクリーニング検査	5歳児 8名	布勢小学校にて教諭によるスクリーニング検査を実施した。保小接続、連携について話し合った。
	野外を走ろう会	5歳児 8名	小学校行事に参加し、児童と交流したり地域の方と関わり、小学校生活に関心をもった。
11月	5歳児・1年生 交流活動	5歳児	小学校の活動に参加し、学校生活や学習に関心を持った。児童と交流を深めた。
2月	給食体験・幼小連絡会 健康のおはなし会	※中止 ※中止	小学校の給食時間や給食メニューを知る。 養護教諭から体の健康と生活習慣について教わる。
3月	保育公開 保小連絡会	5歳児	保育を参観してもらい、幼小のつなぎ、連携について話し合った。
その他	授業公開 7/1, 9/16 学習発表会 11/13 保小管理職会 7/2, 9/8, 11/5 1/26, 3/3…中止 生活習慣チャレンジ 6/17～6/23 2/17～2/23	所長 所長 所長、主任 5歳児	授業を参観し、小学校の学習について学んだ。 2か月に1回、会議を行い、保育所保育と小学校教育の理解、療育支援、情報共有等、保小の連携を図った。 布勢小学校「生活習慣チャレンジ週間」に併せて、早寝早起き、排便、メディア接触に取り組み、家族で健康な生活について考え、意識の向上を図った。

○保小の連携、保小のつなぎを図るため、園児、児童の交流活動に積極的に参加した。保育所保育、小学校教育に健康と感染症予防の観点から、給食体験活動は中止したが、連絡会等で保小の連携を図った。

<地域との交流>

○継続して交流できるように、あいさつや園児の朝マラソンの見守り、公民館活動参加の地域の方との交流等、様々な形でかかわりを続けた。

*朝マラソンの応援、見守り（近隣住民の方の参加） *トロッコ列車見送り（地域の方と見送りをする）

*地域行事への参加（節分の豆まき） *「110の家」訪問*絵本の読み聞かせ（公民館の方）

令和3年度 布勢保育所亀嵩分園事業報告

<保育・教育活動>

月 日	活動名	対 象	内 容
4月7日	進級・入園おめでとう会	全園児	進級・入園のお祝いをした。
5月23日	環境美化作業	保護者参加	園周辺の草刈りを行った。
5月27日	保育参観・クラス懇談会 (ばんだ・きりん組)	保護者9名参加	クラス担任と保護者が集い、子育てについて語り合い、保育についての話をした。
6月3日	保育参観・クラス懇談会 (ぞう組)	保護者8名参加	
10日	保育参観・クラス懇談会 (ひよこ・りす・うさぎ組)	保護者13名参加	
7月1日	プール開き	全園児	夏の遊びの始まりや決まりを伝えた。
8月6日	七夕まつり	全園児	七夕の行事を行い、祭りの雰囲気味わう。
22日	環境美化作業	保護者役員・職員	園庭の草刈りを行った。
9月18日	親子運動会	以上児親子 (親子17組参加)	小学校体育館で行った。子どもたちが日々、取り組んできた運動遊びを競技や遊戯に取り入れ行った。未満児は室内で運動遊びやふれあい遊びをした。
22日	なかよしうんどうかい	未満児 (21名参加)	
10月6日	交流運動会	布勢幼合同 以上児(17名参加)	本園の園児と運動遊びを通して関わりを深めた。一緒に弁当を食べるなど交流した。
13日	就学前スクリーニング 検査実施	5歳児(8名)	
11月30日	生活発表会	3.4.5児親子 (17組親子の参加)	音楽や物語に親しんだり、生活、遊びの体験を表現した。また、個人の作品を展示し、保護者に見てもらう機会とした。
12月4日	お楽しみ発表会	0.1.2歳児親子 (17組親子の参加)	音楽や物語に親しんだり、生活、遊びの体験を表現する。 親子で音楽に合わせたふれあい遊びを楽しんだ。
17日	クリスマス会	全園児	伝統や季節の移り変わりを伝える行事を体験する。
28日	年納会	全園児	
1月7日	新年おめでとう会	全園児	伝統や習わしを伝える行事を体験した。
1月11日 ~14日	個人面談	全保護者	情報交換、子育てについて話し合った。

2月3日	節分祭	全園児	伝統や習わしを伝える行事を体験する。
3月1日	ひなまつり会	全園児	伝統や習わしを伝える行事を体験する。 写真スライドなどの演出を行う。
23日	卒園式	卒園児とその保護者	
毎月1回	トトロの楽校 音楽療法士：武田千代美氏	本園、分園合同で年齢に合わせた音楽リズム遊びを楽しむ。 (4.5月は休止。6月移行再開する)	
随時	子育て相談	発育、発達、子育てに関する相談、面談を行う。 ・離乳食についての相談 ・就学に向けての相談、面談 ・家庭でのかかわり方などの相談 など	

○感染症対策を行いながら保護者行事を行った。

○新型コロナウイルス感染症に関して、家庭での県外移動があった場合の連絡や、家族の状況などを知らせてもらうように家庭に通知した。

小学校の休校（令和4年2月8日～2月14日）に伴い、兄弟関係がいる家庭には登園自粛のお願いをした。この要請に対して、ほとんどの家庭が自粛をしてくださった。また、検査結果を踏まえ、家庭からの保育の申し出があった園児（2名）の受け入れを行った。

【交流活動】

○異年齢交流 社会性や協調性、人への思いやりの心を育む。生活習慣を身に付ける。

○集団遊び 様々な人との関わりを深める。一人遊びでは得られない学びを楽しむ。

* 3・4・5歳児交流 本園との交流を主とし、森あそびや運動会を実施した。

亀嵩では寺・神社への散歩を活動の中心に取り入れ、亀嵩の地域探検を行った。

<食育>

活動名	内容
野菜の栽培	園の畑やプランターで栽培活動をした。 サツマイモや夏野菜の栽培 冬に向けては白菜や大根を種から植えた。
クッキング	収穫した野菜でクッキング体験をした。 サツマイモご飯やおでんなどを作った。
給食当番	配膳、片付け、あいさつなど食事準備にかかわる。
食文化	和食、行事食など食文化にふれる。 竹の子掘りやフキなど季節の和の料理に園児が関わり味わった。 行事食では目で見て楽しめる工夫をし、七夕そうめんやクリスマス会のメニューに取り入れた。
給食展示・食育展示	食に関する情報を展示する。

○畑や園庭で栽培活動を行った。苗や種から関わり、水やりや生育状況を間近で見ることによって野菜の生長に関心を持つことができた。また、栽培がうまくいかない状況も知り、栽培の難しさを経験した。

○調理活動は感染症の予防の観点から十分に行えない状況だった。

その中で、園児には見たり、嗅いだり触ったりと五感を働かせる食育活動を行った。おでんづくりでは生の大根をかじってみることから始め、実際におでんを作るときは保育者が作る過程を見る、味がしみこんで、色が変わっていくのを見て臭いを感じて、食べる楽しみにつなげることができた。

感染症のなかでも保育者や調理師のひと手間と工夫により、食育活動が広く展開できた。

<小学校との連携>

月 日	活 動 名	対 象	内 容
5月 6月 9月	かめっ子マラソン	3. 4. 5 歳児参加	活動に参加し、交流したり、小学校の生活を知る。
9月	就学前スクリーニング 検査	5才児	今年度より小学校で行う。検査も小学校教員が行う。
6月	幼小連絡会 施設プール清掃	職員 職員	情報交換をする。幼小のつなぎ、連携について話し合う。
2月	給食体験 幼小連絡会 1日入学	5歳児（中止） 職員 5歳児（中止）	

○小学校行事や交流会は感染症のため中止が相次ぎ、交流が十分に持てなかった。教職員同士で連絡を密にし、就学前の園児の情報交換を行った。

○教職員に向けての保育公開を行い、就学に関わる連絡会やケース会議を頻繁に行った。

<地域との交流>

○感染症のため公民館活動（笹巻・団子作り・花植え）、地区民運動会の中止。

○駐在所と連携を取り、交通安全教室を開催する。また、交通安全にかかわるポスター作りをし、啓発活動に努めた。

令和3年度 職員研修

仁多福祉会布勢保育所

参加日	研修名	開催地	出席者
4月9日	仁多福祉会理事長研修、人権研修	奥出雲	三島
6月3日	特別支援コーディネーター連絡会	奥出雲	佐々木
6月14日	幼稚園・保育所指導者研修会	出雲	植田
8月19日	メンタルヘルス研修Ⅰ	松江	安部
8月20日	メンタルヘルス研修Ⅱ	松江	山田
8月23日～25日	保育士キャリアアップ研修（保育実践）	出雲	三島
9月10日・15日	中国地区保育研究大会	オンライン	全職員
9月13日～15日	保育士キャリアアップ研修（障がい児）	出雲	坂井
9月30日	人権講演会	布勢	山田
11月11日	歯科保健従事者研修会	オンライン	内田、赤名
11月19日	保育教諭・幼稚園教諭・保育士合同研修	松江	佐々木
11月29日	奥出雲町の教育を語る会	仁多中	山田、川西
12月6日～8日	新任保育士・保育教諭研修	松江	三島
12月	施設長研修	オンライン	山田
12月14日	なわとび講習会	奥出雲	安部
2月4日	運動あそび研修	オンライン	植田、安部、三島
2月26日	中国ブロック保育士会リーダーセミナー	オンライン	佐々木、川西、坂井
2月	島根県保育所等の働き方改革セミナー	オンライン	山田
3月11日	島根県アレルギー疾患対応に関する 専門職向け研修	オンライン	内田

【雲南保育協議会】

参加日（月）	研修名	担当園	出席者
4月、9月、11月、2月、	施設長部会		山田
4月、3月	保育士部会		佐々木
6月9日	保育を語る会 「食育について」教材作り	奥出雲ブロック	赤名
10月8日	実技研修「絵画・造形」 布勢小学校 宮本教頭	奥出雲ブロック	佐々木、三島
11月4日	実技研修「自然観察」 ネイチャーガイド 池田先生	飯南ブロック	三島
11月9日	保育を語る会「療育研修」 学び舎ぽっと 埴先生	奥出雲ブロック	安部
6月3日	実技研修「運動あそび」 リーベ式トレンタ 小川先生	雲南2ブロック	安部
6月、11月、1月	調理担当者部会		内田
10月15日	公開保育・研究発表	大東保育所	佐々木、植田
10月28日	公開保育・研究発表	布勢保育所	

10月29日	公開保育・研究発表	掛合保育園	安部
--------	-----------	-------	----

【仁多福祉会保育所職員研修】 研修テーマ「主体的に学びに向かう力を育むためには」

参加日	研修名	出席者
5月14日	仁多福祉会保育所職員研修 保育公開・討議 (肥後先生研修) 亀嵩分園 2歳児	山田、川西
7月20日	仁多福祉会保育所職員研修 保育公開・討議 (肥後先生研修) 八川保育所未満児	山田、三島
9月16日	仁多福祉会保育所職員研修 保育公開・討議 (肥後先生研修) 馬木保育所 3・4歳児	山田、坂井
10月22日	仁多福祉会保育所職員研修 保育公開・討議 (肥後先生研修) 三沢分園 4・5歳児	山田、植田
11月12日	仁多福祉会保育所職員研修 保育公開・討議 (肥後先生研修) 阿井保育所 0歳児	嵐谷

【園内研修】

4月1日 定例職員会	・年間行事の計画、検討(行事 内容等について話し合う。)	全職員
4月8日 公開保育に向けて	・早番、遅番業務について ・前年度園内研修の振り返り、まとめ 仮題「生活の中で“考える力”を育む」 研究の取り組みを話し合う。(生活に着目した保育研究)	チーフ
4月	・年間指導計画の見直し、検討	チーフ
4月15日 公開保育に向けて	・生活の中で工夫して育つということの実践について話し合う。 生活の中でとらえた学びの力、生活力について	チーフ
4月19日 公開保育に向けて	・公開保育に向けてチーフが考える保育の組み立て、向かってい きたい保育を考える。文書にまとめる。	チーフ
4月26日 公開保育に向けて	・今年度向かっていきたい保育を軸に生活の中で考える力を育む 保育について考える。	チーフ
4月27日 肥後先生保育指導	・研究保育の取り組み(保育公開・指導) 保育は遊びを中心とする生活(生活者として育つということ) ここにしかない保育、一人ひとりに立脚した保育研究の組み みを考える。	全職員
4月27日 定例職員会	・各クラスの状況報告 ・保育指導、研究保育について振り返り	全職員
5月14日 公開保育に向けて	・保育指導を受け、研究保育の取り組みを話し合う。	チーフ
5月20日 定例職員会	・ヒヤリはっと事案について ・研修報告(職員研修・亀嵩分園2歳児保育公開) ・以上児、未満児クラスに分かれて保育の組み立てと環境構成に ついて話し合う。	全職員
5月21日 公開保育に向けて	・生活の中で、子どもが「動く、する、しようとする」場面を話 し合う。	チーフ

5月31日 公開保育に向けて	・場面を分類分けし、図に表し、「行動、心情、意識など」を見出す。	チーフ
6月2日、3日、8日 公開保育に向けて	・分類分けの整理、研究保育の着目点について話し合う。	チーフ
6月11日 定例職員会	・ヒヤリはっと事案について	全職員
6月18日 肥後先生保育指導	・研究の取り組みについて	チーフ
6月19日	・研究保育の取り組み（保育公開・指導） 幼児期の暮らし全体を通じて育みたい姿、ねらうのはどんな姿なのか、話し合う。（幼児期に育てたい学びのリテラシー） 布勢ならではの研究の取り組みについて話し合う。	チーフ
6月23日 公開保育に向けて	・研究テーマ「幼児期の暮らしを通じて“考える力”を育む」 ・施設プール管理（衛生、安全、機械管理）について	チーフ チーフ
7月1日、9日、21日 公開保育に向けて	・研究主題について 研究保育資料の指導をもとに研究の方法について話し合う。	チーフ
7月 7月14日 定例職員会	・園の暮らしのどういうところに焦点をあてるか話し合う。	全職員 全職員 全職員
7月29日	・水遊び、プール遊びの安全管理について ・公開保育・研究保育について事例をもとに話し合う。	全職員 全職員 全職員
8月5日 定例職員会	・幼児安全法講習会（日本赤十字社より講師）	全職員
8月19日、26日 公開保育に向けて	・研究の取り組み、研究保育資料をもとに話し合う。	全職員
8月20日 定例職員会	・新型コロナウイルス感染症防止対策について	チーフ
8月31日 園内新任職員研修	・資料（幼児期に大切な三つの育ち）をもとに研究保育について話し合う。	全職員
9月2日、9日 公開保育に向けて	・研修報告（職員研修・八川保育所0～2歳児保育公開） ・研究の取り組みについて話し合う。	全職員
9月8日 定例職員会	・1・2歳児クラス保育公開、検討会	全職員
9月28日 肥後先生保育指導	・研究保育事例検討 ・保育案について ・公開保育、研究保育について	チーフ 全職員 全職員
10月6日 定例職員会	・研究保育の取り組みについて 日々の生活の中で子どもが考える場面について話し合う。	全職員
10月7日～ 公開保育に向けて	・研究保育について 未満児の生活、以上児の生活で大切にしたいこと	チーフ
10月28日 公開保育、研究発表	・生活場面（暮らし）に焦点をあてた研究保育についてまとめる ・事例検討 ・雲南保育協議会公開保育・研究発表 「幼児期の暮らしを通じて“考える力”を育む」 参加者 雲南保協会員 20名 教育関係 4名 町内保育所所長	全職員

11月12日 定例職員会	・公開保育グループ討議の内容から課題と今後の取り組みを話し合う。	全職員
12月9日 定例職員会	・保育を振り返り、自然環境を生かす、活用する保育について話し合う。	全職員
1月7日	・冬の遊び、保育について ・年長児の保育について（就学に向かって）	チーフ
1月28日	・園内保育公開（新任職員保育公開） 1, 2歳児保育について 行事と保育	全職員
2月10日 2月16日	・1・2歳児保育公開、検討会 ・3・4歳児保育公開、検討会	全職員
2月24日	・年間食育計画検討	チーフ
3月20日 定例職員会	・人権・権利擁護研修…虐待、子どもの関わり（資料にもとに）	全職員

令和3年度 職員研修

仁多福社会布勢保育所亀嵩分園

参加日	研修名	開催地	出席者
5月12日～14日	キャリアアップ研修（マネジメント）	出雲	藤原紀
10月12日	幼児教育推進シンポジウム	オンライン	部田
10月22日	人権を考える県民のつどい	オンライン	藤原友 佐伯
10月27日	主任・主幹保育士研修	オンライン	部田
11月11日	歯科保健従事者研修	オンライン	中西
12月6日～8日	新任保育士・保育教諭研修	松江	佐伯
12月15日～17日	キャリアアップ研修（幼児教育）	松江	藤原紀
2月7日	中国ブロック保育士会リーダーセミナー	オンライン	部田
2月22日	中国地区保育協議会「人材育成研修会」	オンライン	土屋
3月11日	島根県アレルギー疾患対応に関する専門職向け研修	オンライン	中西

【雲南保育協議会】

参加日（月）	研修名	担当園	出席者
6月9日	保育を語る会（食育）	奥出雲ブロック	板持
10月8日	実技研修（絵画研修）	奥出雲ブロック	藤原紀
10月15日	公開保育（大東保育所）	大東保育所	藤原友
10月28日	公開保育（布勢保育所）	布勢保育所	部田
10月29日	公開保育（掛合保育所）	掛合保育所	土屋
11月4日	実技研修（自然観察）	赤名保育所	佐伯
11月9日	療育を語る会	奥出雲ブロック	佐伯

【仁多福社会保育所職員研修】

参加日	研修名	出席者
7月20日	仁多福社会保育所職員研修（八川保育所）	小池
9月16日	仁多福社会保育所職員研修（馬木保育所）	藤原美
10月22日	仁多福社会保育所職員研修（三沢分園）	藤原紀
11月12日	仁多福社会保育所職員研修（阿井保育所）	部田

【園内研修】

5月21日	定例職員会	全体的な計画について 研修報告	全職員
6月14日	定例職員会	園内研修について 研修報告	全職員
6月22日	定例職員会	園内研修 ・1か月の取り組みと成果 ・今後の環境構成について 研修報告	全職員
7月19日	定例職員会	保護者支援について ・現状と課題から方針を考える	全職員
8月2日	定例職員会	食育活動について	全職員
8月18日	定例職員会	保護者支援について ・交通安全ポスター作り ・駐在所との連携	全職員
11月16日	定例職員会	研修報告	全職員

【意見・要望等の受付報告】

布勢保育所

苦情受付担当者 主任保育士 佐々木 由紀
 苦情解決責任者 所長 山田 まゆ美
 第三者委員 立石 典夫
 吉川 しのぶ

苦情対応について

苦情受付	苦情申出者	苦情内容 (要望内容)	対応
担任主任	保護者 (母)	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス発行のおたよりの内容について ・個人が特定できるような伝え方をされている。 ・自分の子どもではないかと不安に感じた。 ・子どものことば使いについて心配している。 	苦情申出人と担任が面談を行い、おたよりの内容について不快感、信頼を損ねてしまう事項を詫び、子ども同士の関わりの一場面や保育者の対応等、保護者の不安、心配なことを理解した上で、今後、職員間で見直しや検討、改善することを理解いただく。保護者対応についても指導し、改善に努力した。

ふせ児童クラブ

【理念】

「放課後児童クラブ」は、授業の終了後に適切な遊びや生活の場を提供して、児童の健全な育成を図ることを目的とします。家庭的なくつろいだ雰囲気作りに努め、心地よい自分の居場所を見つけて、お互いが助け合い、学び合い、考えを出し合いながら活動します。また、地域の人や乳幼児との触れ合いを通して心を育て、元気と笑顔のあるクラブを目指します。

【対象児童】

・保護者が就労などにより、小学校下校後、帰宅しても家庭に誰も居なく安全に過ごせない児童

【利用時間】

- ・平日(月曜日から金曜日)・・・小学校下校時から18時30分まで
- ・学校の休業日・・・8時から18時30分まで
- ・土曜日・・・8時から18時30分まで

【休日】

- ・日曜日、国民の休日、年末年始、お盆
- ・他に臨時で休みにする場合があります

【利用料】

- ・年間利用 1か月・・・5,400円(おやつ代含む) 但し、夏休みの8月は6,600円
- ・一時利用 全日・・・500円 半日・・・300円

【活動内容】

- 学習の習慣づけをします。宿題を中心にして、時間を決めて取り組みます。
- 自由遊びでは、自分の好きな空間や友だちを見つけ、自分たちで考え、見つけ、創り出して遊びます。
- 色々な体験学習を行います。

《放課後児童クラブの一日》

- 下校～16:00 「ただいま」の元気な声で帰ります。
会話をしながら健康チェックをし、手作りおやつを食べます。
- 16:00～16:30 学習
- 16:30～17:30 自由遊び
- 17:30～18:30 片付け、掃除、帰宅の準備

【年間事業報告】

4月	・入学・進級おめでとう会	7月	・プール活動 ・将棋
8月	・園外活動(旧高田小学校) ・百人一首	12月	・クリスマス会 ・雪あそび
1月	・正月あそび ・縄跳び	2月	・節分

<その他の活動> ・乳幼児との交流 ・公民館活動 ・製作活動 ・運動遊び

【2021年度児童クラブ利用状況】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登 所 数	年間 (登録数)	7 (7)	7 (7)	7 (7)	7 (7)	7 (7)	7 (7)	7 (7)	7 (7)	7 (7)	7 (7)	7 (7)	7 (7)	84
	一時 (登録数)	12 (16)	10 (16)	7 (16)	10 (16)	10 (16)	6 (16)	8 (16)	8 (16)	8 (16)	6 (16)	4 (16)	4 (16)	93
	合計	19	17	14	17	17	13	15	15	15	13	11	11	177
利 用 数	年間	111	95	147	106	96	122	121	104	93	75	104	98	1,272
	一時	67	55	59	41	57	39	55	110	39	27	24	20	593
	合計	178	150	206	147	153	161	176	214	132	102	128	118	1,865

一日平均利用人数 … 9人

〔 1年生 7人、 2年生 2人、
3・4年生 振替休日・長期休暇時利用
5・6年生 登録なし 〕

【職員】

支援員 1名
支援員補助 1名

- 利用児は低学年が多く、楽しく生活できる場をつくるよう努めた。異学年であっても同じ場で活動と一緒に楽しみながら過ごし、課題(宿題)を自分からすすんでしたり、制作にも積極的に取り組んだ。
- 環境を生かしたあそび(運動あそび、森遊び等)や地域探索、博物館見学等、活動の充実を図った。
- 感染予防をしながら、簡単なおやつを作ったり、調理体験を楽しむ機会を設けた。
- 子どもたちが活動の場やみんなで過ごす場所の整理整頓や掃除をすすんでし、気持ち良く帰ることを心掛けた。環境や遊びを通して子ども同士が学び合うように努めた。
- 長期休暇(春休み、夏休み)に、多様な体験活動の機会を設け、興味や関心のあることを深めていく中で、学びの意欲と力を育んだ。地域の方に将棋と百人一首を教わり、子ども同士も遊び方のコツを教え合い、世代間のかかわりの中で活動の充実を図った。
- 夏の活動として、小学校施設プールを使用し、監視体制を整えた上でプール遊びを楽しんだ。自分なりのめあてを持ってプールの活動に取り組み、体力向上に努めた。(7月26日～8月6日)
- 長期休暇や振替休日には、公民館、コミュニティーセンターを使用し、活動や課題(宿題)に取り組んだ。火災や災害時の避難訓練、避難場所開設見学、映画鑑賞等、公民館活動にも積極的に参加し、状況に応じた行動を瞬時に行う訓練を体験したり、地域の方とかかわり、交流を深めた。
- 絵本の読み聞かせや年長児に小学校の生活や学習について話をしたり、制作したものをプレゼントしたり、保育所園児との交流の機会を設け、かかわりを深めた。
- 小学校との連絡を密にしながら、児童クラブでの児童の様子を伝え、連携を図った。
- 新型コロナウイルス感染症による保育所休園(1月14日～18日)に伴い、利用自粛の依頼をした。児童クラブ利用要望がなく、家庭保育に協力いただいた。活動の場の消毒や活動の準備を行った。
- 新型コロナウイルスの感染者が確認されたため、小学校休校(3月4日～10日)となる。自宅待機の方針のため、児童クラブ利用はなかった。家庭より、健康状態や状況等の連絡を受け、対応した。
- 室内換気、集会や食事等の場では間隔を広げる、室内ではマスクを着用、手洗いの推奨、消毒等、衛生環境を整えながら感染予防に努め、活動を行った。児童も保健衛生に気を付け、生活の中で身についた習慣を自分からすすんで行った。

か め だ け 児 童 ク ラ ブ

【理念】

「放課後児童クラブ」は、授業の終了後に適切な遊びや生活の場を提供して、児童の健全な育成を図ることを目的とします。家庭的なくつろいだ雰囲気作りに努め、心地よい自分の居場所を見つけて、お互いが助け合い、学び合い、考えを出し合いながら活動します。また、地域の人や乳幼児とのふれあいを通して心を育て、元気と笑顔のあるクラブを目指します。

【活動内容】

☆学習の習慣づけをします。宿題を中心にして、時間を決めて指導します。

☆自由遊びでは、自分の好きな空間や友だちを見つけ、自分たちで考え、見つけ、創り出して遊びます。

☆長期休業時は芝桜見学や社寺への散歩に出かけ、地域への関心を深めた。

☆製作活動を継続して行い作品作りを楽しんだ

(ステンドグラス作り、ミサンガ作りなど)

《放課後児童クラブの一日》

下 校	～15:30	手洗いの徹底。健康チェックをします。
15:30	～15:50	おやつ
15:50	～16:20	学習(宿題)
16:30	～	お迎え 自由遊び、乳幼児との交流

☆取り組みについて

- ・令和3年度から亀嵩町自治会館を借用し行う。借用に関して町自治会との連携をこまめに取りながら行った。園舎と離れているということもあり、おやつの運搬や細かい連絡事項など職員間での連携も密に行う必要があった。
場所が限られていること、借りている場所であることを児童にも伝え、決まりを作り安全に使えるように配慮した。
- ・借用の関係でクッキングなどの取り組みは多くはできなかったものの、支援員が工夫し、手作りのおやつの日を設けるなどした。
- ・支援の必要な児童の利用に関しては、小学校との連携もこまめに行い、様子を見に来てもらったり、その日の様子などを伝え合う場を設けた。また、長期休業時は児童クラブから小学校へ勉強に行く時間を設けてもらい、児童の情緒の安定を図るように連携を取った。また、児童一人ひとりの小学校での様子や家庭での様子を伝え合い、利用児童の細かいケアに努めた。
- ・保護者との連携にも力を入れ、児童クラブでの様子や家庭での様子を伝え合うことで、児童クラブの本来の意味である児童の居場所づくりに努めた。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、小学校休校中(令和4年2月8日～2月14日)は利用の自粛をお願いした。この要請を受けて、ほとんどの家庭での対応の協力が得られた。
検査結果陰性の状況を踏まえての受け入れを行った児童(1名)もあった。

☆年間行事

春 入学・進級おめでとう会 クッキング

夏 給食クッキング ALT との交流会

秋 製作活動

冬 大掃除 新年おめでとう会

【対象児童】

- ・保護者が就労などにより、下校後帰宅しても家庭に誰も居なく、安全に過ごせない小学校低学年児童（1年生から3年生）
- ・希望があれば、4年生以上も可

【利用時間】

- ・平日（月曜日から金曜日）・・・下校時から午後6時30分まで
- ・学校の休日・・・午前8時から午後6時30分まで
- ・土曜日・・・午前8時から午後6時30分まで

【休日】

- ・日曜日及び祝日
- ・お盆期間
- ・年末年始
- ・他に臨時で休みにする場合があります。

【利用料】

- ・年間利用 1か月・・・5,400円（おやつ代含む）
夏休みの8月は6,600円
- ・一時利用 1日・・・500円
半日・・・300円

【利用児童数】

		月													
		R3/4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
登園数	年間	12	12	12	14	14	14	14	14	14	14	13	14	161	
	(登録数)	(12)	(12)	(12)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)		
登園数	一時	14	10	10	15	13	10	10	10	11	11	10	10	134	
	(登録数)	(18)	(18)	(18)	(20)	(18)	(18)	(18)	(18)	(18)	(18)	(18)	(18)		
合計		26	22	22	29	27	24	24	24	25	25	23	24	295	
		(30)	(30)	(30)	(34)	(32)	(32)	(32)	(32)	(32)	(32)	(32)	(32)		
利用数	年間	211	212	254	217	235	264	276	244	247	218	166	257	2,801	
	一時	全日	26	2	0	25	64	0	0	1	2	1	0	6	127
		半日	49	89	96	57	8	93	99	93	83	78	92	103	940
合計		286	303	350	299	307	357	375	338	332	297	258	366	3,868	

1日平均利用人数…13人

【支援員】 2名

【補助員】 1名

1.2年生…10名程度の利用あり

3年生以上 5名程度の利用あり

(振替休日・長期休暇時も平均13名の利用あり)